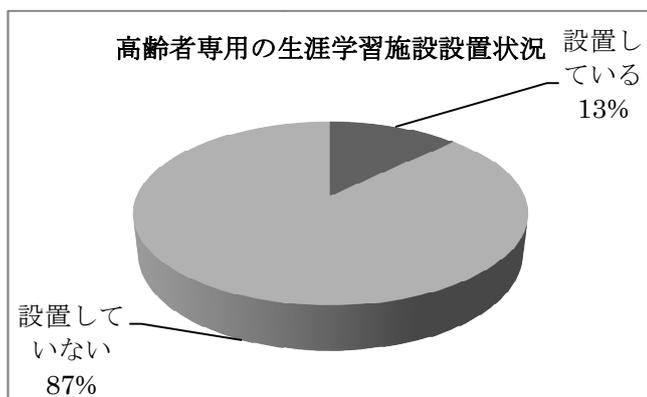


7. 市町村アンケート結果（協力市町村数47市町村、平成27年3月実施）

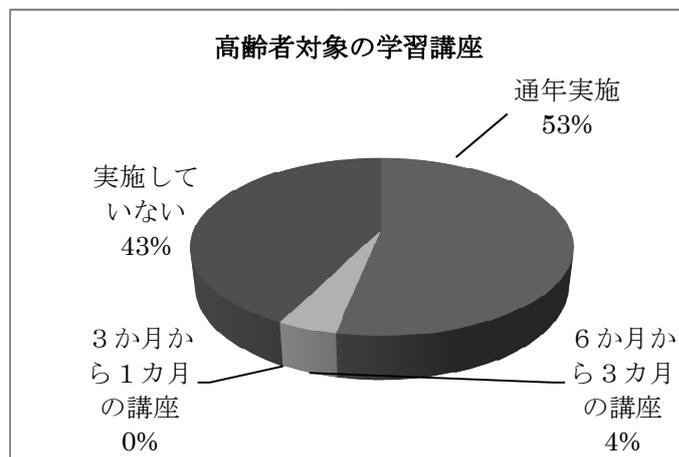
1. 高齢者専用の生涯学習施設を設置しているか。



市町村の約9割が、高齢者専用の生涯学習施設を設置していない。

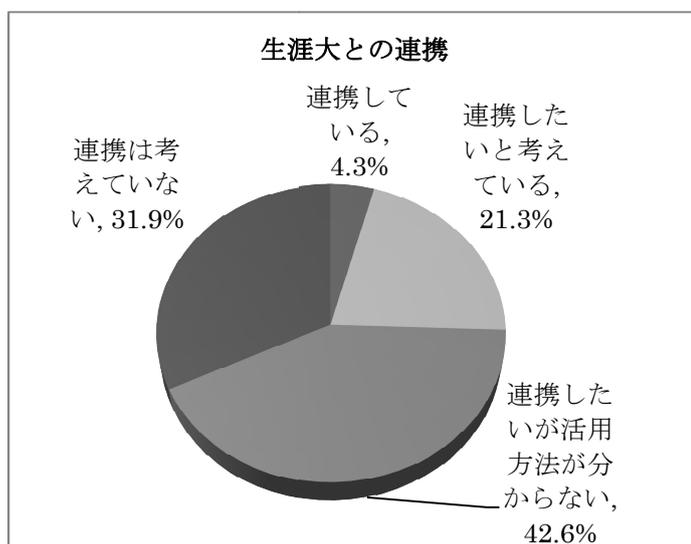
2. 高齢者対象の学習講座を実施しているか。

高齢者対象の学習講座については、「通年実施」が53%、「6か月から3カ月の講座を実施」が4%であり、合わせて、約6割の市町村が、高齢者向けの学習講座を実施している。



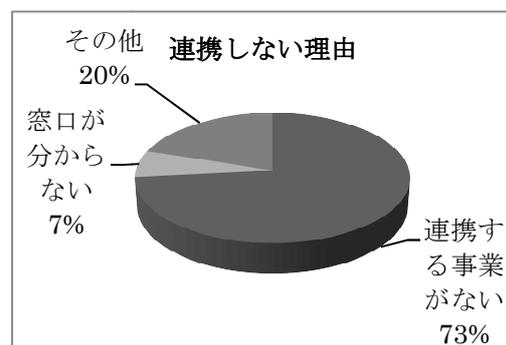
3. 生涯大と連携しているか。

生涯大との連携については、「連携している」、「連携したいと考えている」、「連携したいが活用方法が分からない」を合わせて、約7割の市町村が連携に前向きであるが、特に、「連携したいが活用方法が分からない」が42.6%となっている。

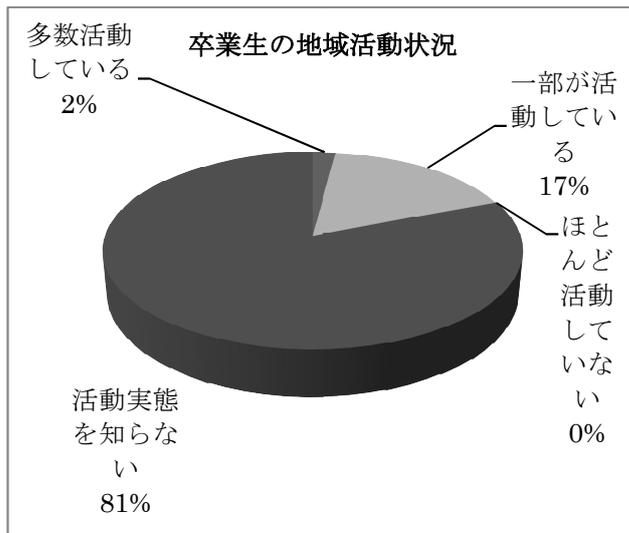


4. 連携しない理由は？

連携しない理由は、約7割の市町村が「連携する事業がない」であった。「その他」としては、「人員不足」等があった。



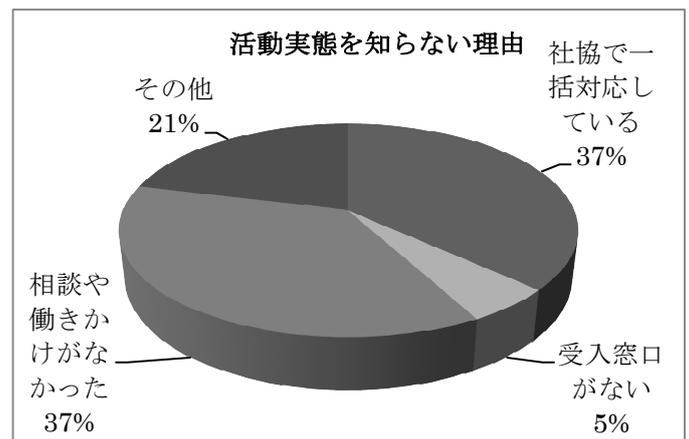
5. 市町村における卒業生の地域活動状況はどうか。



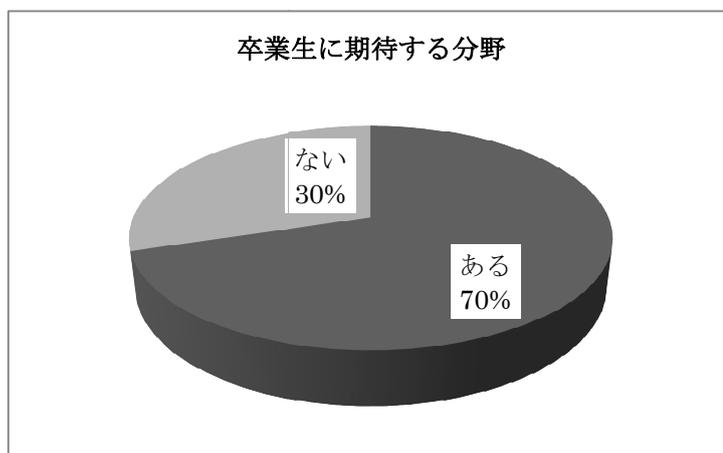
市町村における生涯大学校卒業生の地域活動状況については、活動実態を知っている市町村が、「多数活動している」、「一部が活動している」を合わせ、約2割となっており、約8割の市町村は、「活動実態を知らない」としている。

6. 活動実態を知らない理由

活動実態を知らない理由については、「社協で一括対応」と「相談や働きかけがなかった」がそれぞれ37%であった。「その他」の理由としては、「誰が生涯大学校の学生か分からない。」だった。



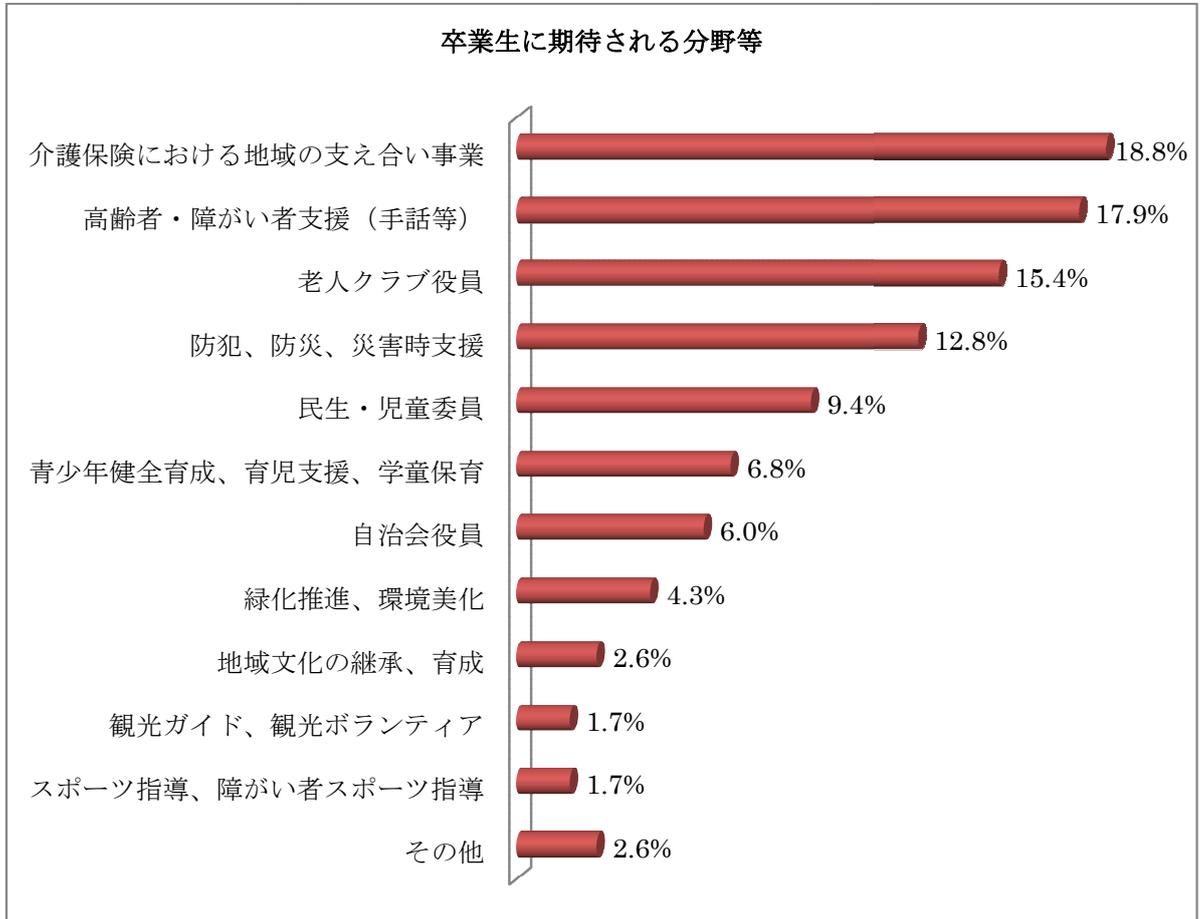
7. 卒業生に期待する地域課題や分野はあるか。



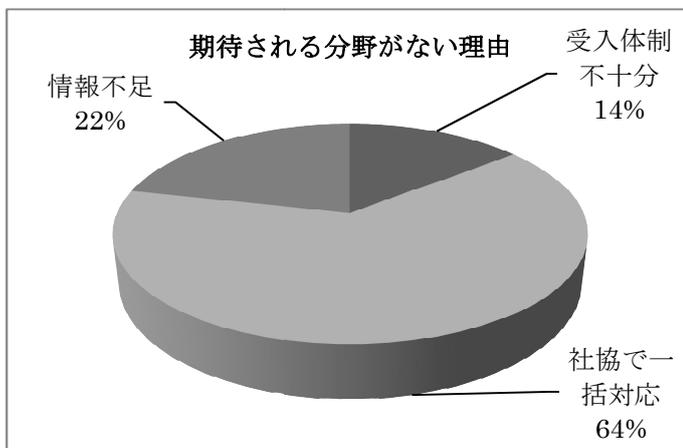
卒業生に期待する地域課題や分野について、7割の市町村が「ある」と回答している。

8. 上記6のうち卒業生に期待する地域課題・分野はどれか（複数回答）

卒業生に期待する地域課題や分野については、「介護保険における地域の支え合い事業」が約19%、「高齢者・障がい者支援（手話等）」が約18%と福祉分野における支援で約37%を占めた。次いで、「老人クラブ役員」、「防犯、防災、災害時支援」、「民生・児童委員」の順となった。

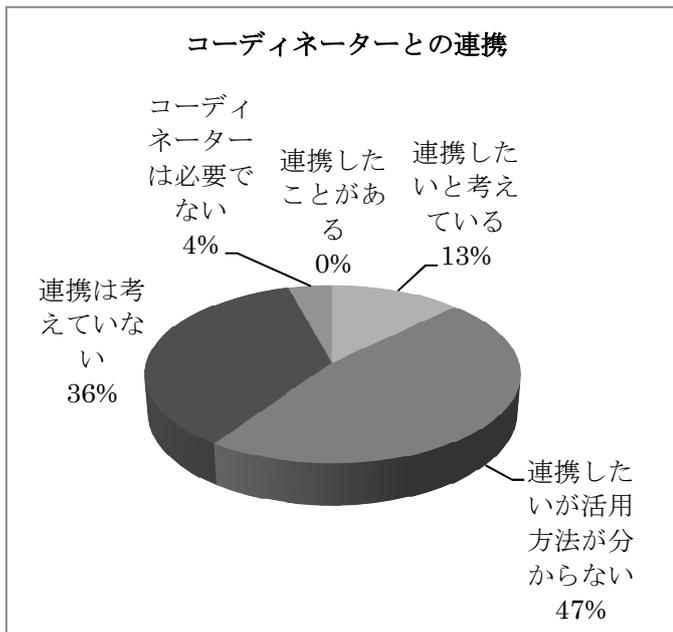


9. 期待する分野がない理由は何か



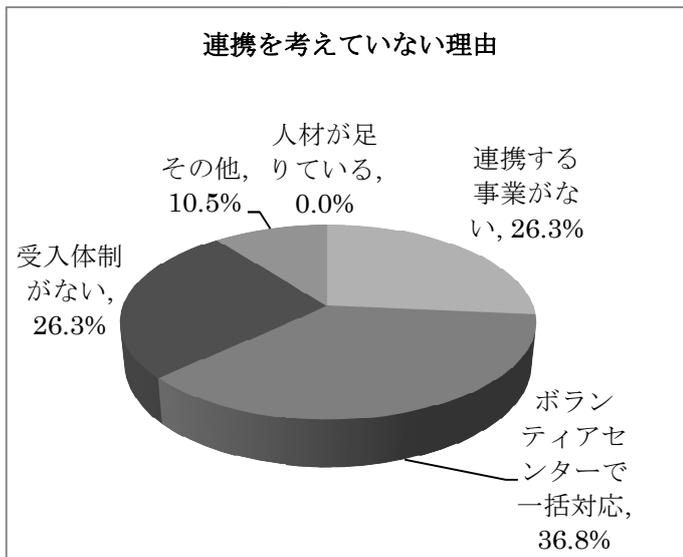
期待する分野がない理由は、「社協で一括対応」64%、次いで、「情報不足」22%、「受入体制不十分」が14%であった。

10. 地域活動コーディネーターとの連携状況はどうか。



コーディネーターとの連携については、「連携したいと考えている」、「連携したいが活用方法が分からない」を合わせて、6割の市町村が連携に前向きであるが、特に「連携したいが活用方法が分からない」が47%となっている。

11. 連携しない理由



連携を考えていない理由は、「ボランティアセンターで一括対応」が36.7%で最も多く、次いで「連携する事業がない」「受入体制がない」が26.3%だった。「その他」意見としては、「学生の自主性を尊重したい」、「住民に自主的に生活してほしい」があった。

8. 市町村における生涯学習の状況 (H27. 3月調査)

	事業名	定員 (単位:人)	学習内容	対象年齢	実施主体	授業料
千葉県	生涯大学校	1710	■地域活動学部(週1回 2年間) ※年間39日 152時間 ■造形学部 園芸コース(週1回 1年間) 陶芸コース(週2回 1年間) ■地域活動専攻科	55歳以上	指定管理者	地域活動学部 15,400円 造形学部 園芸コース 27,700円 陶芸コース 55,500円 地域活動専攻科 15,400円
千葉市	ことぶき大学校	210	修業年限(週1回 1年間) ※年間28日 112時間 ■ボランティア実践コース 福祉健康学科 園芸学科 ■創造活動コース 美術学科 陶芸学科 他に、地域活動実践講座(全学科共通)として、年間5~10回程度体験	50歳以上 (ただし60歳未満は定員の2割まで)	千葉市社会福祉事業団	ボランティア実践コース 12,000円 創造活動コース 60,000円
船橋市	船橋市民大学校 ※旧老人大学と旧ボランティア大学を統合。	計495	※週1回 1年間・40日/年 ■まちづくり学部 スポーツコミュニケーション 30名 ボランティア入門 30名 生涯学習サポート 30名 ふなばしマイスター 30名 ■いきいき学部 (60歳以上) 一般教養 50名×2クラス 健康 50名×2クラス パソコン 25名×3クラス 陶芸 25名×2クラス 園芸 25名×2クラス	まちづくり学部 18歳以上 いきいき学部 60歳以上	直営	年額 10,000円
	公民館 寿大学	60~270	26公民館で実施。 高齢者の交流と健康・教養の向上(健康体操、童謡唱歌、教養講座、映画、バス研修等)	60歳以上	直営	なし

市町村名	事業名	定員	学習内容	開催状況	対象年齢	実施主体	授業料
市川市	シニアカレッジ(教養講座)	383	健康吹き矢、社交ダンス、ペン習字、気功リズム体操、健康麻雀	各種目ごとに年24回程度	60歳以上	直営	なし
木更津市	高齢者教室「ふれあい学級」	705	高齢者をとりまく課題	年10回 (5月～3月開)	65歳以上	直営	なし
松戸市	まつど生涯学習大学講座	330	60歳以上の方を対象に自らの生活課題・社会課題に即した学習をもとに、地域の主体的な行動者となることを期して通年(年18回)で毎年開催	年18回	60歳以上	直営	なし
野田市	長寿教室 いきいきライフセミナーほか	100	健康長寿、交通安全対策、金融犯罪	年5～6回	65歳以上	直営	なし
成田市	成田生涯大学院	100	教養講座(成田市の歴史など年間25回程度)及び専門講座(年間15回、書道・陶芸・油絵・音楽・体操・園芸より1つ選択)	年40回 ※3年制	60歳以上	直営	なし
佐倉市	佐倉市民カレッジ	100	1.2年 教養 3.4年 福祉・歴史・情報・元氣から1つ選択	1.2年 年12回 3.4年 コースにより異なる ※2年制	40歳以上	直営	月額 10000円
習志野市	寿学級	280	健康問題、レクリエーション、社会見学	年40回(半日)	60歳以上	直営	なし
勝浦市	社会教育活動振興事業 (高齢者学級)	120	講義(遺言書の作成や高齢者詐欺に関する講演等)、実技(パークゴルフ)、文化施設の見学	年6回	60歳以上	直営	なし
流山市	流山ゆうゆう大学	450	教養科目(健康・安全・郷土、文化芸能、消費生活、福祉)、選択科目(音楽、健康体操、自然散策、史跡探訪、日本文学、絵手紙)	年24回(半日) ※2年制 (公募は2年に1回)	60歳以上	直営	なし
八千代市	八千代ふれあい大学校	150	一般教養と健康福祉	年24回(半日)	60歳以上	直営	なし
我孫子市	長寿大学	54	一般教養と健康福祉の講座・体験	年24回 ※4年制	65歳以上	直営	年 6000円
君津市	君津中央高齢者学級	50	学習、移動学習、料理、踊り	年10～11回	60歳以上	直営	なし
富津市	シルバー生きがい学級	160	知識、教養、健康	年12回 (6～2月開催)	60歳以上	直営	なし
浦安市	うらやす市民大学	476 講座ごとに 16～40名	浦安市に関する知識、防災、介護予防など17講座	1講座につき 年24回 (複数講座受講可)	制限なし	直営	講座ごと 4000円～ 9000円
四街道市	長寿大学、福寿大学、 あさひ寿大学	100	防犯、介護予防、健康体操		65歳以上	直営	なし
八街市	生きがい短期大学	25	市について、福祉・環境、金融経済、国際理解	年17回 ※2年制	60歳以上	直営	なし
白井市	白井市民大学校	115 (シニア 30)	健康生活学部・シニア学部・白井発見学部	年24回 ※シニア学部のみ2年制	40歳以上 (シニア 60歳以上)	直営	なし
富里市	創年セミナー	60	知識、教養、健康	年16回 (7～2月開催)	20歳以上	直営	なし
匝瑳市	生きがい講座「寿大学」		知識、教養、健康	年8回 (6～1月)	60歳以上	直営	なし
いすみ市	いすみ市立いきいき塾	161 (7～20名)	健康音楽、手話ダンス、舞踊、麻雀、書道、茶道(表千家)、詩吟、絵手紙、健康・地域福祉	年24回 (健康・福祉講座は年6回)	制限なし	直営	なし
多古町	高齢者大学	30	町政、消費生活、歴史、スポーツ、趣味と文芸	年12回	65歳以上	直営	なし
芝山町	芝山町生きがい学級	74	講演、視察研修、演芸会、手芸、運動会、かるた大会等		60歳以上	直営	2000円
横芝光町	寿大学	159	軽スポーツ・講話・日帰り研修等	年5～6回	60歳以上	直営	なし
長生村	シルバースクール	50	社会一般	年5回	65歳以上	直営	1回 1000円
長南町	高齢者教室	80	講演、視察研修、映画鑑賞等の学習	年10回 (5～2月)	65歳以上	直営	なし

9. 卒業生アンケートの結果（平成 27 年 2 月実施）

卒業を控えた地域活動学部（地域活動専攻科含む）の学生を対象に、学習満足度や、地域活動の意向等を調査（H27.2 調査）

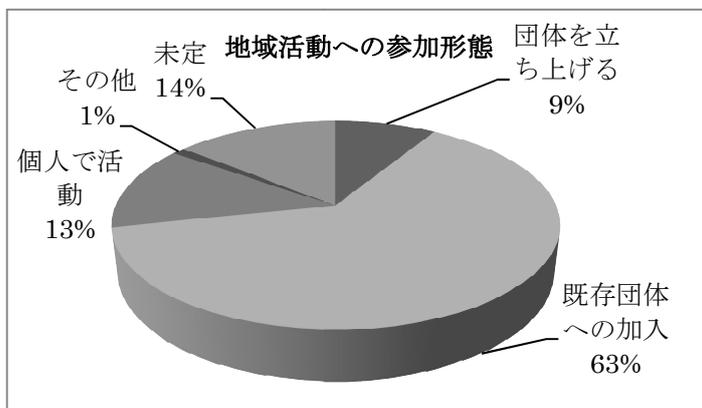
I 地域活動について

1. 入学前後の地域活動の状況

入学前に「地域活動を行っていない」者の 85% が、入学を機に、地域活動を行う（「やる気はあるが未定」を含む）としている。

設問	学園名	京葉学園（地域活動学部 + 地域活動専攻科）
入学前に地域活動を行っていたか		
行っていた		65%
行っていない		35%
上記設問で「活動を行っていない者(35%)」について、入学後に新たに地域活動を始めたか		
在学中から行っている		21%
卒業後に開始を予定している		12%
やる気はあるが具体的には未定		52%
活動予定はない		15%
		85%
上記設問で「地域活動を行っていた者」と、「地域活動を新たに始めた（「やる気はある」を含む）者」（94.7%）の地域活動の状況		
在学中から行っている		55%
卒業後に開始を予定している		9%
やる気はあるが具体的には未定		28%
活動予定はない		8%
		92%

2. 地域活動への参加形態



地域活動への参加形態は、「既存団体への加入」が 63% と最も多く、次いで、「個人で活動する」が、13% であった。

3. 地域活動の分野

実施している地域活動の分野としては、「町内自治会・地域づくり・まちづくり」が約35%、次いで、「福祉関係」が約33%となっている。

設問	学園名	京葉	東葛飾		東総	外房	南房	
			浅間台	江戸川台				
現在、地域活動を行っているか								(京葉除く平均)
行っている			56%	67%	52%	50%	90%	63.0%
→実施している地域活動内容の分野								
町内自治会・地域づくり・まちづくり		34%	42%	39%	27%	38%	30%	35.1%
福祉関係の活動		32%	31%	29%	33%	18%	54%	32.9%
青少年の育成		11%	4%	10%	6%	14%	0%	6.8%
環境関係		7%	8%	8%	21%	21%	5%	12.5%
その他		16%	17%	14%	12%	10%	11%	12.7%
行っていない(京葉学園は「活動予定がない」)		8%	44%	33%	48%	50%	10%	

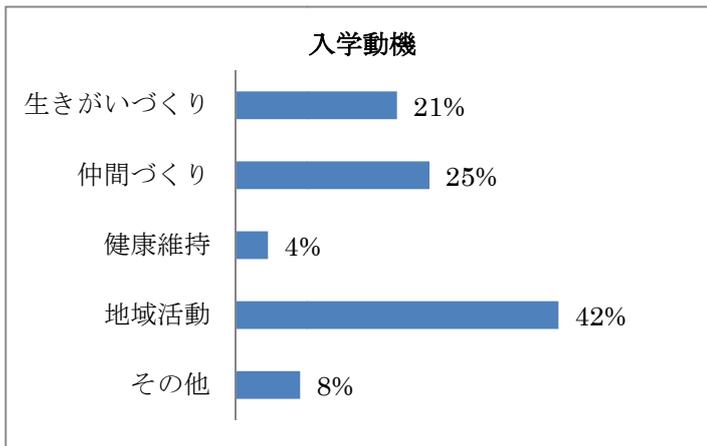
4. 卒業後の地域活動実践への意欲について

卒業後の地域活動への実践意欲については、約83%の者が意欲は「大いにある」、「ある」としており、卒業後の地域活動分野としては、「町内自治会・地域づくり・まちづくり」が約36%、次いで、「福祉関係」が約30%となっている。

設問	学園名	京葉	東葛飾		東総	外房	南房	
			浅間台	江戸川台				
卒業後、地域活動実践への意欲はどうか								
大いにある (京葉学園「意欲が増した」)		17%	17%	14%	14%	8%	20%	(京葉含む平均)
ある (京葉学園「やや増した」)		44%	73%	69%	67%	77%	80%	
意欲がある(計)		61%	90%	83%	81%	85%	100%	83.3%
→卒業後の地域活動分野								
町内自治会・地域づくり・まちづくり		34%	45%	45%	30%	34%	31%	36.4%
福祉関係の活動		32%	27%	25%	33%	27%	39%	30.4%
青少年の育成		11%	10%	12%	9%	13%	10%	10.8%
環境関係		7%	11%	15%	22%	25%	14%	15.6%
その他		17%	7%	3%	6%	2%	6%	6.8%
ない				1%	19%	2%		
未回答			10%	16%		13%		

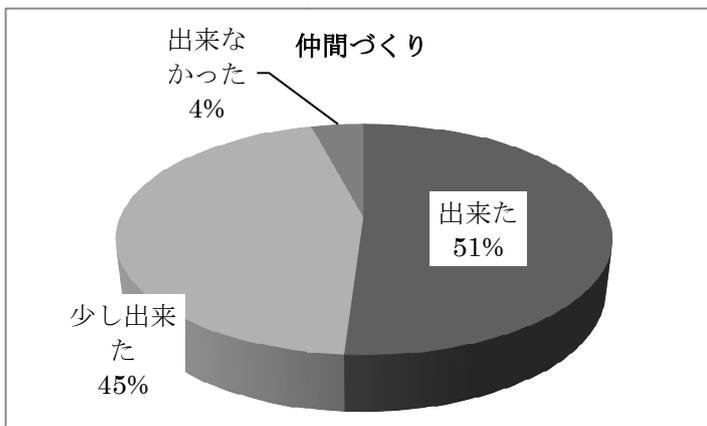
II 学習内容について①（京葉学園）

1. 入学動機は何ですか。



入学動機は、「地域活動」が42%と最も多く、次いで、「仲間づくり」が25%。「生きがいきづくり」が21%であった。

2. 仲間づくりは出来ましたか。



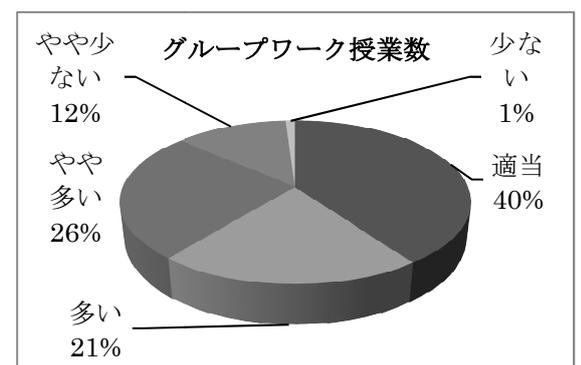
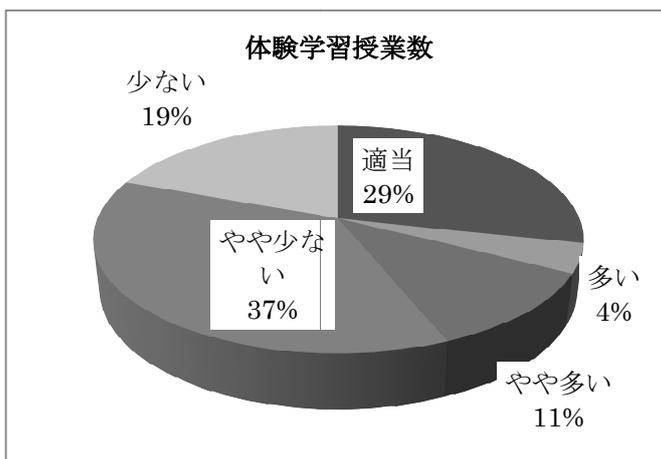
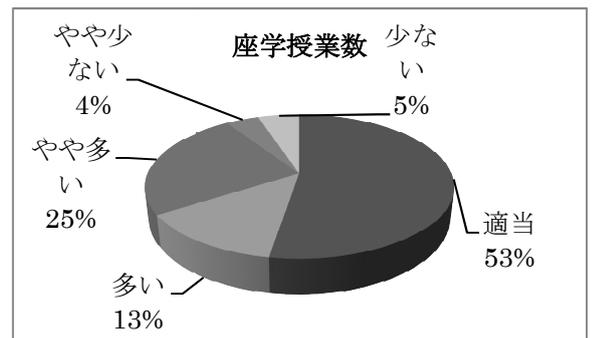
仲間づくりは「出来た」と「少し出来た」を合わせて全体の96%を占める。

3. 授業時間数はどうでしたか。

○座学の授業時間数は「適当」が53%で最も多かった。また、「多い」「やや多い」も合わせて、38%あった。

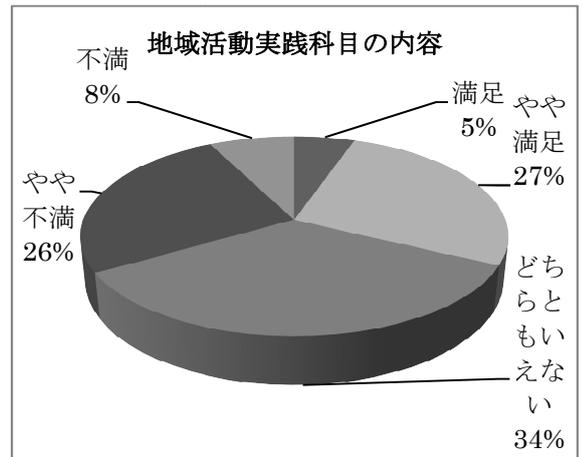
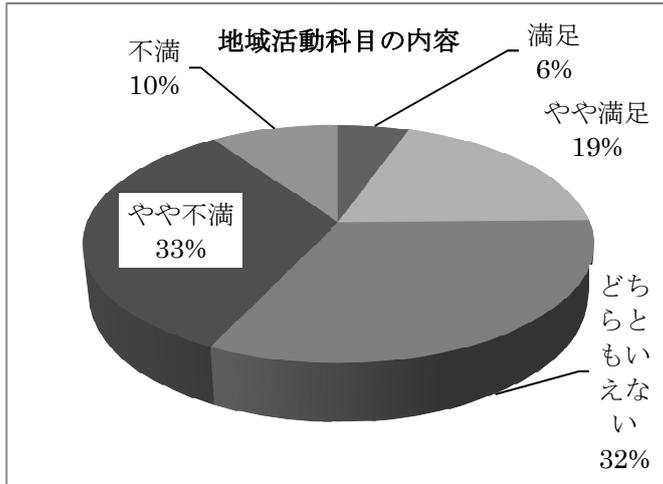
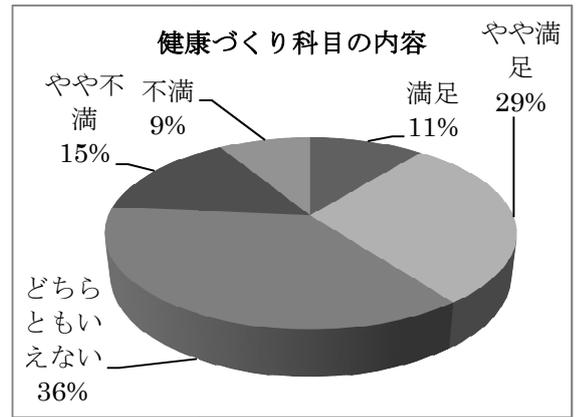
○体験学習は、「やや少ない」「少ない」を合わせて、56%であった。

○グループワークは「適当」が40%、「多い」「やや多い」を合わせて47%であった。

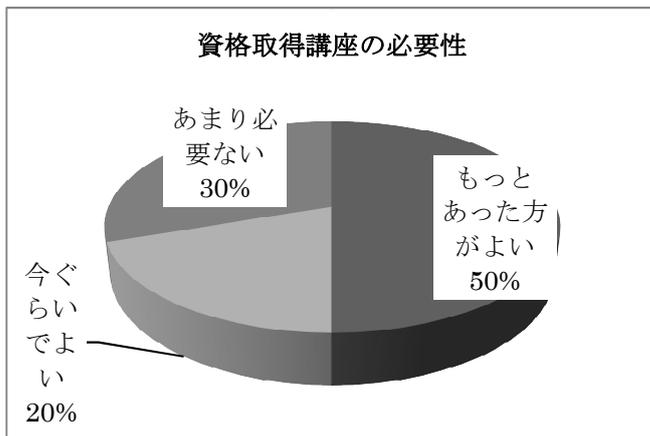


4. 授業の内容はいかがでしたか。

- 「健康づくり科目」「地域活動科目」「地域活動実践科目」とも、約30%の方が、「どちらでもない」と回答した。
- しかし、「健康づくり科目」では、「満足」「やや満足」が、「不満」「やや不満」の合計を上回ったのに対し、「地域活動科目」「地域活動実践科目」では、「不満」「やや不満」の合計が上回った。
- 特に、「地域活動科目」では、「不満」と「やや不満」を合わせて、43%であった。



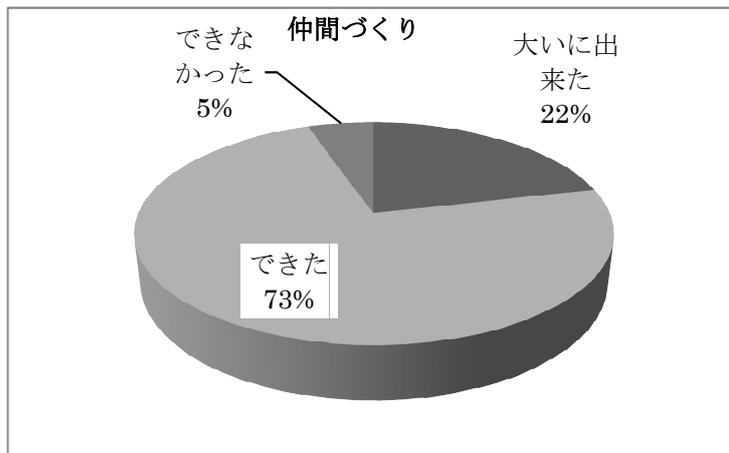
5. 資格取得講座について、どう思いますか。



「資格取得講座」については、「もっとあった方がよい」が半数を占めた。

II 学習内容について②（東葛飾学園、東総学園、外房学園、南房学園）

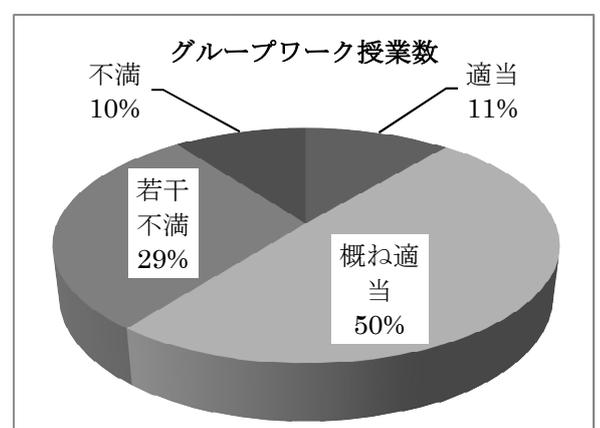
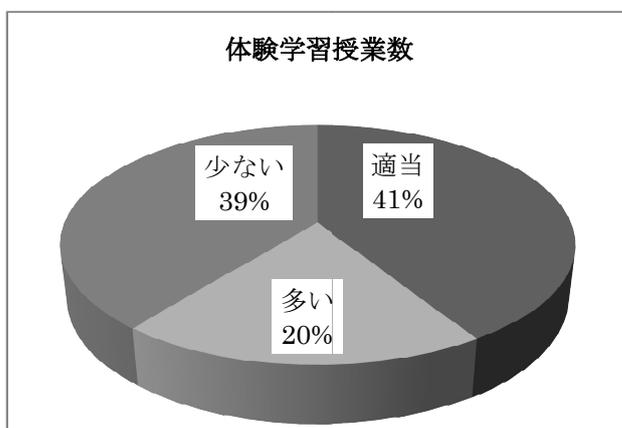
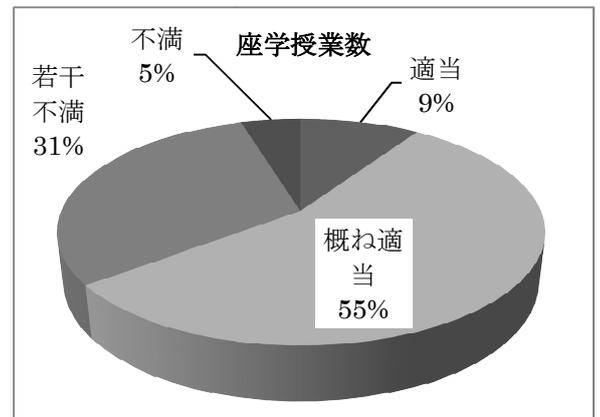
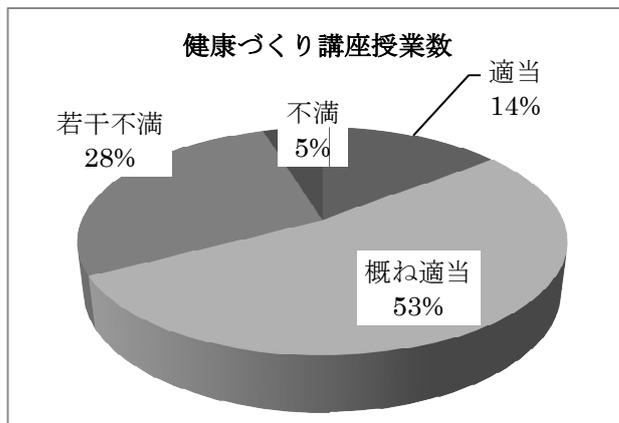
1. 仲間づくりはできましたか。



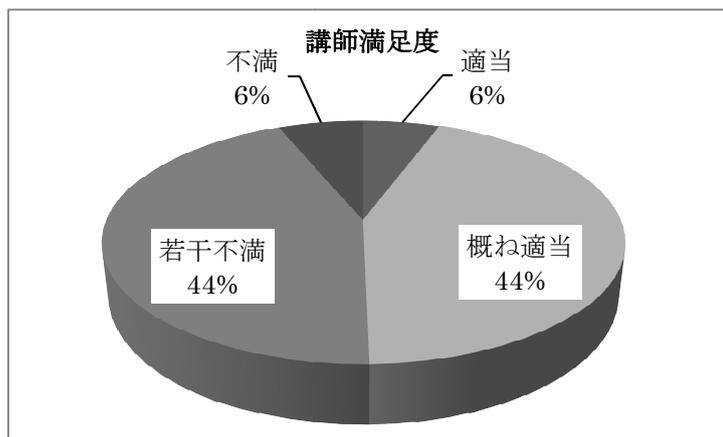
仲間づくりについては、「できた」と「大いにできた」を合わせて、95%であった。

2. 各科目の授業数は適当でしたか。

「健康づくり」、「座学」、「グループワーク」の授業数については、「概ね適当」が約半数であった。「体験学習」の授業数については、「適当」が41%、「少ない」が39%と、あまり差がなかった。

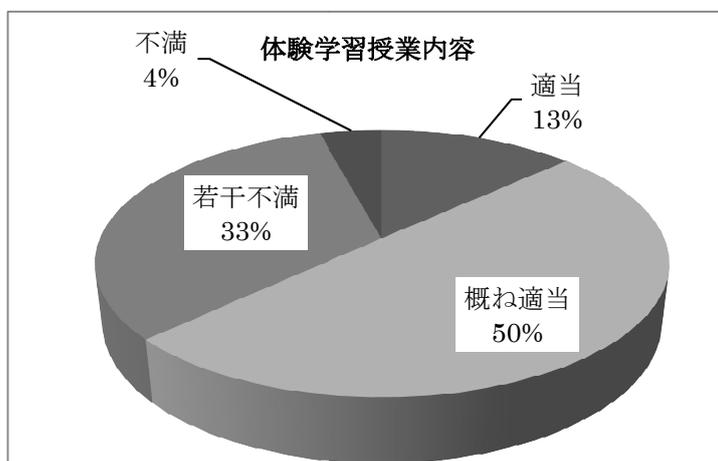


3. 講師の満足度はいかがでしたか



講師満足度については、「適当」「概ね適当」が50%、「不満」「若干不満」が50%と同数であった。

4. 体験学習の満足度はいかがでしたか



「体験学習授業内容」については、「適当」と「概ね適当」を合わせて、63%であった。

Ⅲ 卒業生の声（「自由記述」から）

【地域活動学部に関わること】

地域活動学部 1 期生として使命感を持って、地域に貢献できる人材となるには、何を学ぶ、何を体験すべきかをクラス全員で機会ある毎に、意見を出し合い、検討し、実践した 2 年間の学生生活であった。グループ活動については、1 班、2 班、3 班の活動内容は異なっていたが、卒業後の地域活動に繋がる貴重な体験ができたと考えている。学園サイドには以下のことを要望したい。

- (1) 傾聴ボランティア基礎講座は地域活動講座に組み入れること。
- (2) 社会的資格・認定等は可能な限り、修得させること
- (3) 地域の社会福祉協議会との連携を密にし、卒業生を地域資源として活用すること。

できれば体験学習の機会をもう少し増やして欲しかった。

特に地域探検課題は校外活動が主なので、もう少し時間的に余裕がほしかった。

老後の健康管理授業が意外に多かった。老後を楽しくすごすためには自己の健康管理がいかに大切か、また病気にならない為に自らの心の健康管理の方法を実践的に学ぶことができた。

2 年間の時間を費やすのですから、卒業後に社会に役立つ資格取得（認定）ができる講座を組み入れるべきだと感じました。

- ①傾聴ボランティア基礎講座（16～20時間）

コミュニケーションツールとして必須科目に組み入れてほしい

- ②救急救命具（AED）の取り扱い認定講習（必須科目）

- ③調理実習

男性独居老人の増加、高齢者の介護食等、高齢化社会への対応能力の習得

- ④ラジオ体操等を午前、午後の休憩時間に取り入れる。

気分転換ができ、学習効率が上がるとともに健康増進に繋がる。

考えさせる講義はそれなりにあったと思うが、実践的な学習をもっと取り入れた方が良かった。具体的には、赤十字社による指導をもっと長く受けたかったし、介護の実習をもっと長い方が良かった。体のストレッチ体操等をもっと受けたかったし、本当は以前あった生活科の料理教室も復活してほしい。学生の実生活で役立つ授業をたくさん取り入れるべき。

【地域活動専攻科に関わること】

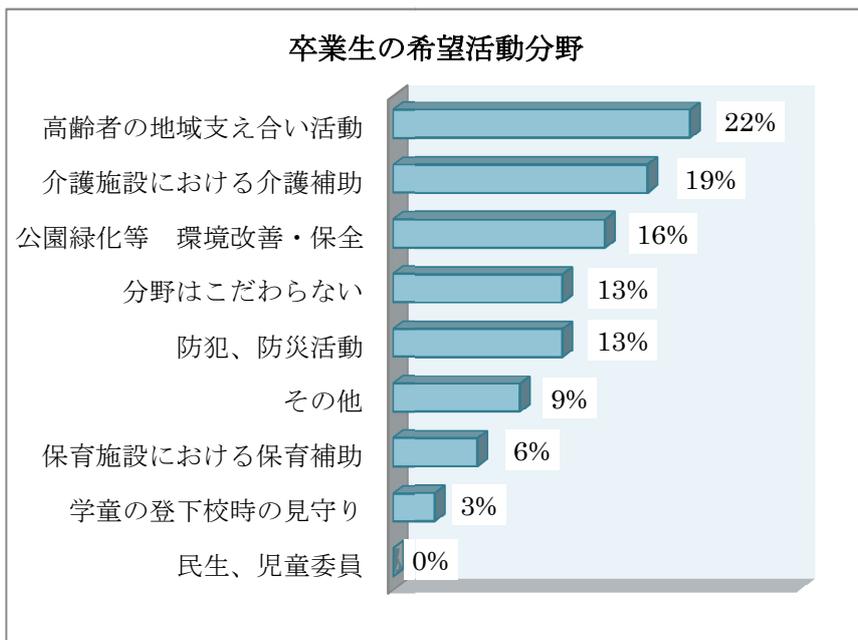
専攻科は各人の自由意志での行動を促し、大いに満足している。また別の目標もできた。1 年制ではなく 2 年制であれば、もっと突っ込んだ福祉活動ができたか。

専攻科が京葉学園だけしかないのはつらい。江戸川台を復活して欲しい。

10. 地域活動コーディネーターアンケート結果（平成27年8月実施）

生涯大学校には、京葉学園（2名）、東葛飾学園（3名）、東総学園（2名）、外房学園（1名）、南房学園（1名）の計9名の地域活動コーディネーターがおり、卒業生等の地域活動を支援しています。

1. 卒業生の希望する地域活動の分野について



卒業生の希望する地域活動の分野については、「高齢者の地域支え合い活動」（22%）、「介護施設における介護補助」（19%）と、福祉分野での活動希望が高い結果となりました。

「その他」としては、「史跡ガイド」、「図書館での活動」、「子育て支援」、「サロン活動」等の回答がありました。

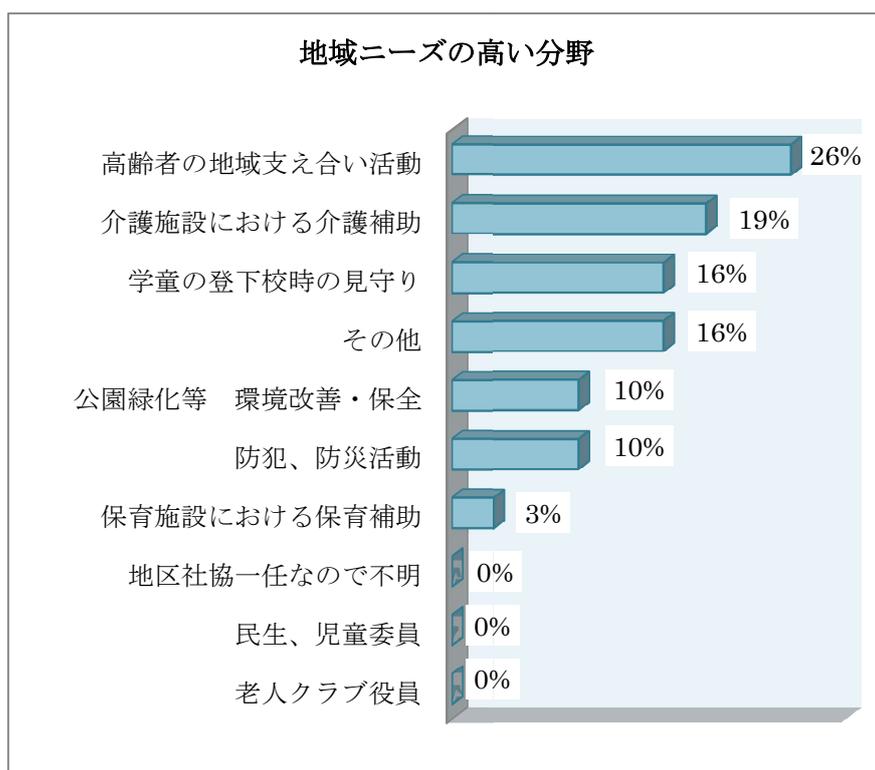
また、詳細不明の地域もありました。

2. 地域ニーズの高い分野

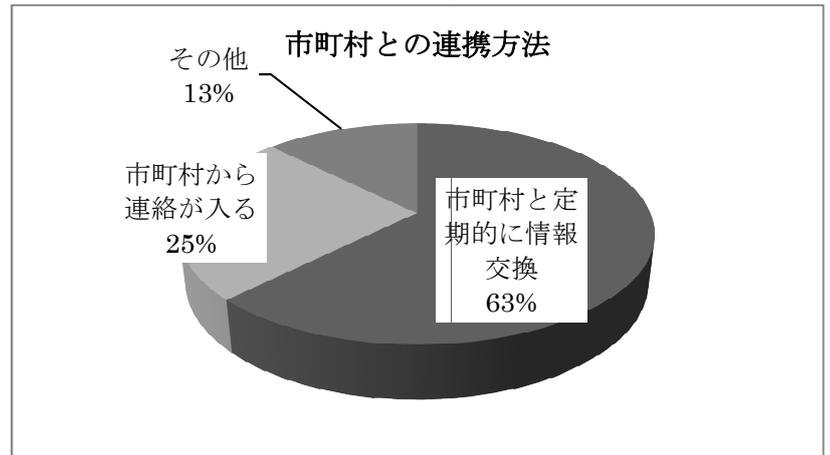
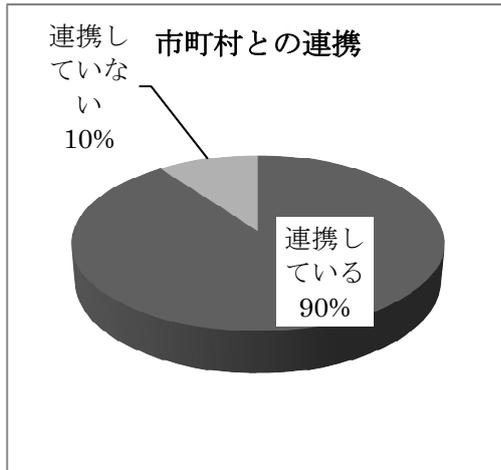
地域ニーズの高い分野についても、福祉分野における希望が高く、また、「高齢者の地域支え合い活動」や「介護施設における介護補助」は、ほぼ全域で高い結果となりました。

「その他」としては、「福祉移送サービス」や「介護予防」、「公的イベントへの参加」、「学童保育」「話相手」、「庭木の剪定」等の回答がありました。

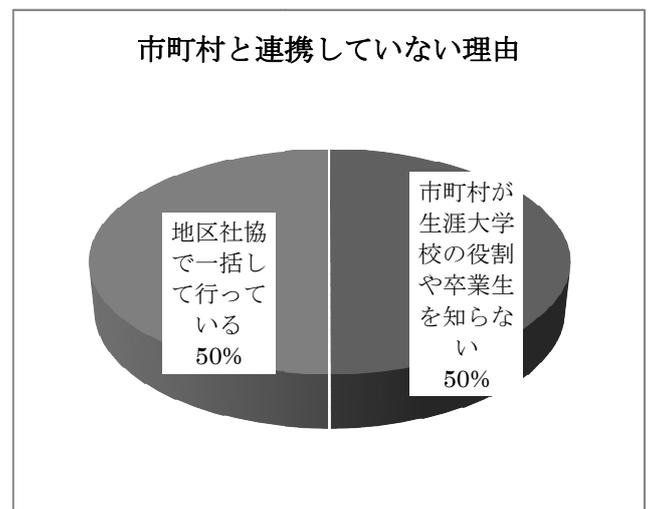
また、詳細不明の地域もありました。



3. 市町村との連携について



4 地域において、市町村と連携しており、連携方法は、「市町村と定期的に情報交換」(62%)、「市町村から情報の連絡が入る」(25%)となりました。また、連携はしているが、「市町村が生涯大の役割や卒業生について知らない」との回答もありました。「その他」として、「不定期に市町村や社協を訪問している」、「情報が掲示されている」という回答がありました。連携していない地域については、「地区社協が一括して行っている」という回答となり、「職員の認知度が低い」という意見もありました。



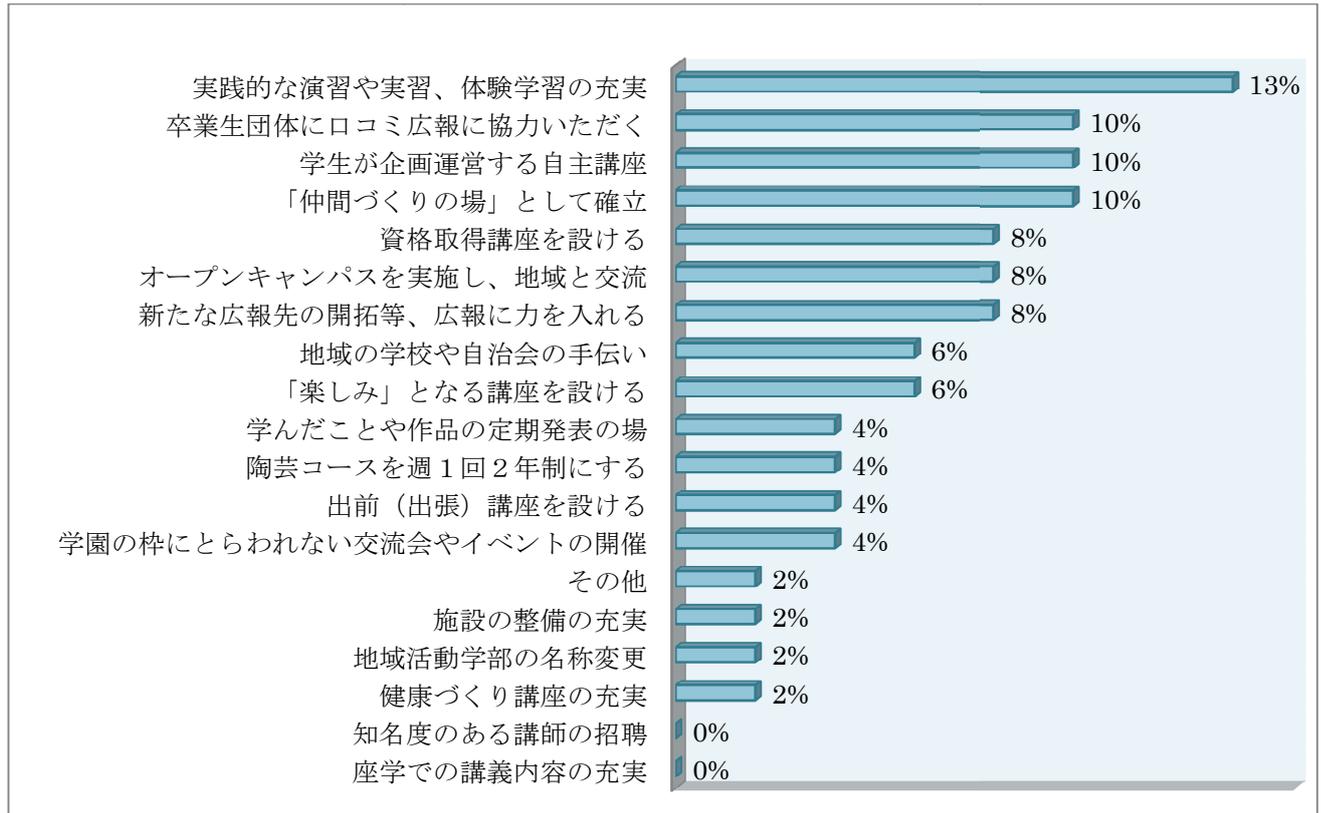
4. マッチングの際の好事例

- ①先輩が活動している団体と活動内容を紹介することでボランティアに参加するケース。
- ②地域活動に関する授業には極力参加し、コーディネーターの存在を印象付けし、学生とのコミュニケーションを図っている。
- ③一歩踏み出すためのお手伝いとして、地域活動学部における体験学習（実習）受入先を確保し、そこで実習する。
- ④東葛福祉会連絡協議会 8 ボランティア福祉会団体による会員募集を支援することで、多数の学生が地域活動を始めている。
- ⑤施設から人手が欲しいという依頼があり、学園自治会長に相談したところ賛同を得られた。
- ⑥社協開催行事への学園活動クラブの派遣。
- ⑦サロン運営。

5. マッチングの際の困難事例

- ①個人宅の庭木剪定のニーズは多いが、スキルが伴わずミスマッチとなっている。
- ②学習期間が 2 年と短い。
- ③受け入れ先も行事の年間計画を立てており、突発の受け入れが難しい面がある。小回りのきく組織の工夫が必要。
- ④要望に対し、対応する担い手がない。

6. 生涯大学の魅力アップと入学者数を増やす取り組み



「実践的な演習や実習、体験学習の充実」が最も多く、ほぼ全域で回答されていました。

また、「卒業生団体による口コミ広報」や「仲間づくりの場の確立」、「学生が企画運営する自主講座」についても多く回答をいただきました。

「その他」としては、「生涯大について知らない人が多いので、高齢者が多く集まる場所やSNSでの積極的なPR」といった広報に関する意見や、生涯大学校入学後の班編成について、「学生の自主的な班編成に任せる」という意見がありました。

7. その他、全般に係る御意見

- ①卒業後にどのような活動をしていくのか、その展望がイメージできるような学校であれば魅力あるものとなると思う。
- ②災害対策コーディネーターの参加。
- ③地域包括ケアの推進。
- ④各学園のクラブ、同好会（OBを含む）がボランティア活動や、地域活動に参加、協力できるよう声掛けをする。
- ⑤この学園で学ぶことの誇りと自信につながる授業を行う。（学生が講師となり地域貢献を行う）
（学生が、学んだ陶芸、園芸の指導を地域の子どもと親に行ったり、福祉介護、AED等の講習会を生徒が行う。）
- ⑥県の意向が市町村に伝わっているか。市町村職員も学園に来て、現場に行って、現状把握をしていただくとともに、コーディネーターと意見が交せる様に指導をお願いしたい。また、各地区の優秀な民生委員が積極的に入学し、地域貢献に（つなげてほしい）。

11. 卒業生の組織化の状況について（平成26年7月調査）

学園	団体名	設立年月	会員数	活動内容
全学園	千葉県生涯大学 校卒業生学習会	昭和63年4月	1,985名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設立趣旨/会員の教養の向上、健康の維持管理、趣味を養い相互の親睦を図り、生涯学習を通じて生き甲斐を ■ 学習会・勉強会・研修会/20回(1回2時間) 4月～3月 ■ 親睦会・親睦旅行等/歓迎会兼親睦会 ■ 機関誌・会報・広報活動/会報(むつみ)年3回発行 ■ 奉仕的活動・ボランティア活動/福祉会立ち上げ予定 ■ クラブ同好会・サークル活動/ハイキング・文学
京葉学園	千葉県生涯大学 校四街道学友会	昭和59年11月	198名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設立趣旨/会員相互の親睦と研鑽を深め、生涯大学校において習得した知識を地域社会に活用する。 ■ 学習会・勉強会・研修会/総会時の講演会・ボランティア研修会 ■ 親睦会・親睦旅行等/歓迎会兼親睦会 7月 ■ 親睦会・親睦旅行等/芸能大会・作品展示会年1回、ゴルフコンペ年2回、囲碁大会月2回、年1回大会開催 ■ 機関誌・会報・広報活動/会報「学友会・もみの会だより」月1回発行 ■ 奉仕的活動・ボランティア活動/ボランティア団体「もみの会」を設立し、以下の各種活動をしている。 ■ わろうべの里(福祉センター)の除草/年8回 ■ 旭公民館の除草/年3回 ■ 県立盲学校の除草・8月(社会福祉協議会行事に参加) ■ ガス灯ロードレースの交通整理(市教育委員会行事に参加) ■ 歳末助け合い街頭募金/12月(社会福祉協議会行事に参加) ■ 四街道駅前サクラ並木の清掃/3月 ■ クラブ同好会・サークル活動/囲碁将棋クラブ、ゴルフクラブ、ハイキングウォーキング、グランドゴルフ、パソコンク ■ 会員の作品展示会開催(4月) (絵画・書・工芸・陶芸・俳句・川柳・短歌・手芸・写真・学友会報告)
	千葉県生涯大学 校佐倉印旛地区 同窓会	平成4年11月	85名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 設立趣旨/会員相互の親睦を図り、生涯学習の必要性を高め、文化交流に資する。 モットー＝楽しくなければ、同窓会ではない ■ この目的を達成するため、次の事業を行う。 ・会員相互の親睦と互助に必要な事業・会員名簿の発行・会誌の発行・母校の事業への協力等 ■ 講演会/4月の総会后、外部講師による講演会 ・総会年1回、役員会年10回 ・研修旅行 ■ 親睦会・親睦旅行等 ■ 機関誌・会報・広報活動 ・5月に京葉学園入学生に対して入会勧誘を行っている ■ 奉仕的活動・ボランティア活動/準備中 ■ クラブ同好会・サークル活動/準備中

学園	団体名	設立年月	会員数	活動内容
京葉学園	NPO法人車椅子レクダンス普及会 千葉中央支部	平成14年4月	40名	<p>■設立趣旨/車椅子レクダンスの技能を習得し、障害者、高齢者等の福祉施設を訪問し車椅子レクダンスを利用したボランティア活動を行う。</p> <p>■学習会・勉強会・研修会 ・練習会/21回(月1-2回) ・養成講座/2回(4月・車椅子フォークダンス、3月・車椅子社交ダンス)</p> <p>■親睦会・親睦旅行等 ・親睦旅行/年1回(随時) ・懇親会/年1回(年末)</p> <p>■奉仕的活動・ボランティア活動 ・施設訪問/計82回 老人福祉施設(2カ所)24回、障害者施設(4カ所)58回、各施設毎月1~2回訪問</p>
	市原市卒業生の会	平成25年12月	23名	<p>■設立趣旨/会員相互の交流を図り研鑽に努め、生涯学習を通じて生きがいを求めるとともに生涯大学校において習得した知識を地域社会に活用することを目的とする。</p>
東葛飾学園	流山校友会	昭和52年11月	388名	<p>■地域に密着した組織(28班)を編成し、活動を推進している。会誌(楨)・ニュースの発行、クラブ・同好会の活動、楽しい老後の集まり</p>
	柏校友会	昭和56年6月	308名	<p>■会員相互の親睦を図ることを目的に、研修旅行、観劇、サークル(パソコン、遊歩会、コーラス、カラオケ等)、校友会だより・機関紙「銀風」の発行、ささやか社会奉仕募金活動を行っている</p>
	柏南校友会	平成14年3月	335名	<p>■講演会、歩こう会、グランドゴルフ、ダンス、俳句、折り紙等の部会活動、旅行</p>
	野田校友会	平成元年4月	104名	<p>■会員の親睦と地域との融和を図ること目的に、研修旅行・学習会、会誌「絆」の発行、地域ボランティア活動、サークル(グランドゴルフ、歩こう会、囲碁・将棋、トレッキング等)等々の活動</p>
	我孫子校友会	平成16年11月	62名	<p>■健やかで仲良く楽しくをモットーに、旅行、落語観賞、サークル活動(散策会、カラオケ、パソコン)、会報の発行等</p>
	鎌ヶ谷校友会	平成13年7月	45名	<p>■会員相互の親睦と地域の高齢者との交流を図り、健康で明るい活動を行う。ボランティア、学習会、ウォーキング、グランドゴルフ等</p>
	銀松会(松戸)	平成元年11月	200名	<p>■民舞、フラダンス、カラオケ、気功などの同好会、研修会、福祉活動などを通して会員相互の親睦と生活の充実を図る</p>
	柏シルバー大学院	昭和56年5月	674名	<p>■生涯大専攻課程を修了した者が、自主的に学習し、社会環境の変化に順応する能力を高め、交遊の輪を広げ、併せて社会活動に参加する。学習会・研修会、機関紙の発行、学生が地域で福祉活動</p>
	東葛市川福祉会	平成9年2月	102名	<p>■施設支援(ダンスパートナー、利用者の誕生会等のお祝いアトラクション、庭の除草・剪定)、福祉の店販売、市行事への参加</p>

学園	団体名	設立年月	会員数	活動内容
東葛飾学園	東葛柏福祉会	平成9年2月	318名	■施設支援(話し相手、洗濯、農園管理、手芸、手話ソング)、柏市社協のメンバーとして各種ボランティア活動
	東葛鎌ヶ谷福祉会	平成9年2月	110名	■特別養護老人ホーム等でリハビリダンスのお手伝い等、子供発達センターでの保育のお手伝い、施設外周りの清掃
	東葛流山福祉会	平成9年2月	149名	■流山市内13施設でボランティア活動(話し相手、習字指導、折り紙遊び、車椅子介助、洗濯物たたみ、カラオケ、囲碁、将棋、麻雀の相手など)
	東葛野田福祉会	平成15年4月	34名	■施設支援(喫茶サービス、清掃、話し相手)、市民祭り、園芸福祉ファーム支援、みどりのふるさと作り参加
	東葛船橋福祉会	平成9年2月	56名	■施設支援(話し相手、清掃、車椅子補助、マジック、凧上げ、ぬり絵、イベントのお手伝い)、小学校登下校時の誘導
	東葛飾福祉会(松戸市)	平成9年2月	260名	■障害者施設における作業支援等、保育所の庭木剪定や用具の補修、市や老人クラブ行事への参加、小学校登下校時の見守り・保護、高齢者の閉じこもり防止活動
	もみじの会(流山市)	平成18年8月	27名	■車椅子の取り扱い方法・高齢者疑似体験のインストラクター(対象:小学校、民生委員、自治会、支援学校など)
	東葛飾福祉会連絡協議会	平成9年2月	1,000名	■柏福祉会、流山福祉会、松戸福祉会、船橋福祉会、鎌ヶ谷福祉会、市川福祉会、野田福祉会、7団体の連絡協議会
東総学園	八匝学友会	昭和52年12月	112名	■匝瑳市・横芝光町居住の在校生・卒業生が構成する親睦団体。
	東庄町校友会	昭和57年5月	47名	■東庄町居住の在校生・卒業生が構成する親睦団体。
	あさひ学友会	平成6年10月	130名	■旭市居住の在校生・卒業生で構成する親睦団体。花壇整備のボランティアに参加。
	神崎町校友会	昭和57年5月	41名	■神崎町居住の在校生・卒業生で構成する親睦団体。下総神崎駅前の花壇整備などのボランティア活動を定期的に実施。
	海上学友会	平成9年10月	35名	■海上地区居住の在校生・卒業生が構成する親睦団体。
	銚子学友会	平成26年5月	120名	■銚子市居住の在校生・卒業生が構成する親睦団体。
	かとり学友会	平成24年6月	77名	■香取市居住の在校生・卒業生がボランティア活動と親睦を深めることを目的に新設。
	日本修道流吟詠会東総支部	昭和52年12月	113名	■詩吟クラブを卒業後、健康作り・生きがいづくりのために月2回集まり、稽古をしている。

学園	団体名	設立年月	会員数	活動内容
外房学園	大網白里地区学友会	昭和56年1月	65名	■会員相互の交流と親睦を図ることを目的として、グランドゴルフ大会や親睦旅行等を実施するほか、ボランティア活動(福祉施設訪問)等を実施している。
	岬町OB会	平成14年4月	52名	■生きがいと併せて社会奉仕活動を年4回程度実施している。
	一笑の会	平成21年5月	20名	■笑いを通じて明るい社会づくりに貢献することを目的として、年2回程度寄席を開催している。
	つくも学友会	平成24年5月	70名	■会員相互の交流と親睦を図ることを目的としている。
南房学園	南房同友会	平成20年4月	9名	■介護施設を訪問し、ボランティアで演芸等(童謡・民謡・歌謡曲・詩吟・舞踊・フラダンス・三味線演奏)を披露し、地域活性化を後援する。
	ふくの会ふくの家	平成21年6月	15名	■地域貢献、会員の生きがいづくり、畑づくり、イベントの企画と実施。「川と海」再生プロジェクトEM菌作り。
	生大OBひまわりの会	平成13年8月	47名	■生きがいを持ち続け、今までの人生経験に加え学んだ知識や技術を活用して社会に役立つことを目的とする。
	碧空会	平成14年2月	51名	■会員相互の親睦、心身の健康保持、地域貢献を目的 会報の発行。老人施設への奉仕作業や研修会を実施
	南房学園同窓会	平成57年6月	280名	■健康で明るい老後の生活向上、会員相互の親睦。特老施設への奉仕活動会報の発行。
	南房33期OB会	平成24年	50名	■自己啓発と社会貢献を目的にする。東日本大震災被災地、被災者応援。